



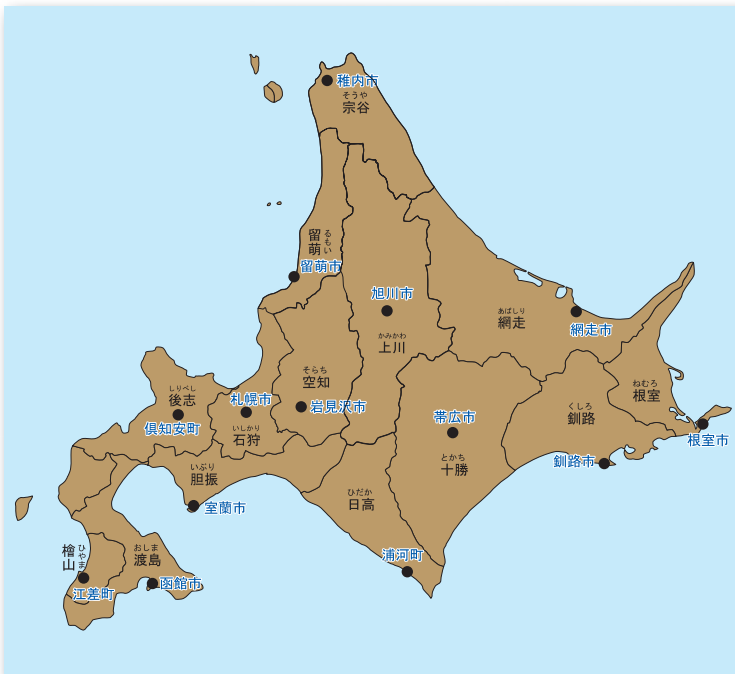
## 北海道の地図を広げて

地図帳を開いて調べてみよう。

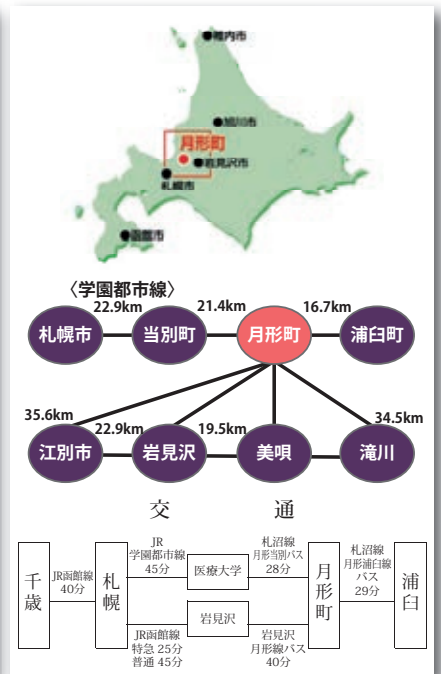
### (1) 月形町の位置

北海道の地図を見てみると、石狩平野の西側に、北海道の中心都市である札幌市があります。

札幌市から少し北東の方に目を向けると、わたしたちにもなじみの深い、岩見沢市があります。岩見沢市には空知総合振興局があり、空知管内の中で一番大きな町で



北海道の振興局の区分



月形町の位置

す。

<sup>いわみざわ</sup>岩見沢市から西の方に目を向けると、私たちが住む月形町があります。月形町は、<sup>そらち</sup>空知の中でも一番西にあり、まわりには<sup>うらうす</sup>浦白町、<sup>いわみざわ</sup>岩見沢市北村、そして<sup>いしかり</sup>石狩管内の<sup>かんない</sup>当別町や<sup>しんしの</sup>新篠<sup>つ</sup>津村などがあります。また西には<sup>かばと</sup>樺戸<sup>れんざん</sup>連山があり、そのむこうには<sup>そ</sup>海沿いの<sup>いしかり</sup>石狩市<sup>あつた</sup>厚田区などがあります。



北海道のいちと広さ

## (2) 北海道の土地のようす

### 北海道の広がり

日本には、大きな島が4つ（北海道、本州、四国、九州）あります。そのうち一番北にあるのが北海道です。面積はおよそ83,422km<sup>2</sup>で、本州に次いで2番目に大きな島です。この広さは日本全体の約<sup>やく</sup>5分の1にあたります。

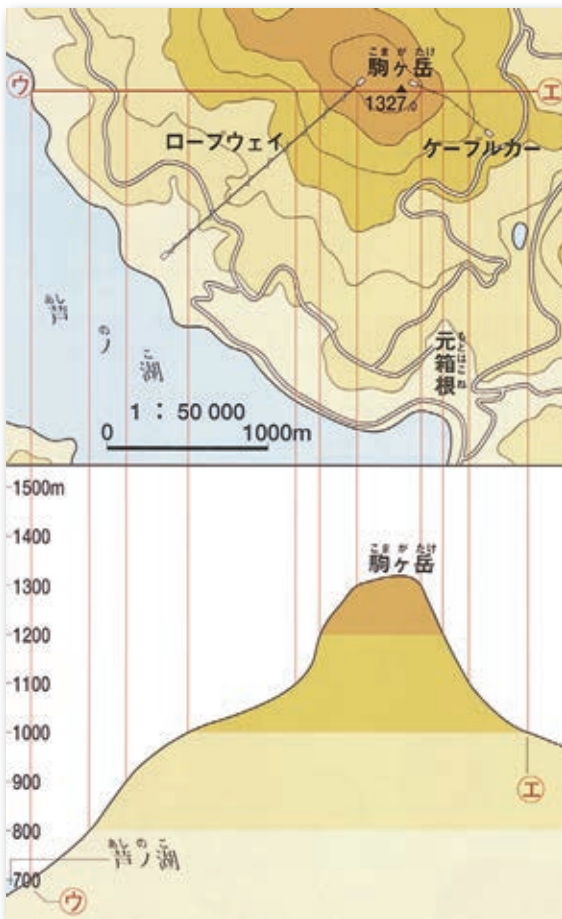


がわかります。

山地を見ると、ひし形部分の中央を北から南に走る、北見・  
天塩・夕張などの山地と日高山脈があります。また中心部か  
ら東の方へも山が連なり、オホーツク海側と太平洋側に分け  
ています。

中央部には大雪山（旭岳）などの2,000mぐらいの高  
い山が集まっています。

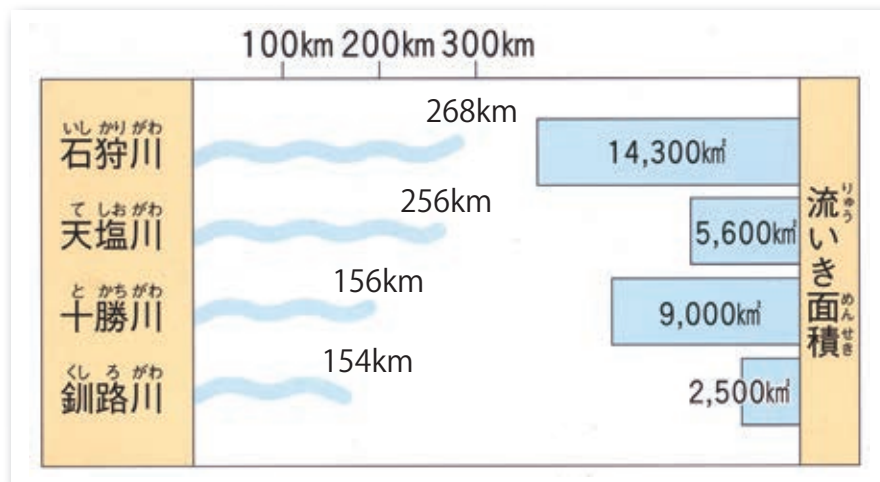
北海道には火山や湖、温泉がたくさんあり、国立公園や  
国定公園も多く、自然が多く残されています。



### 等高線

海面からの高さが同じ場所  
を結んだ線を「等高線」と  
言います。等高線を見る  
と、土地の高さだけではなく、  
土地のかたむき具合も  
わかります。等高線の間か  
くが広いところは、かたむ  
きがゆるやかなところ  
です。また、等高線の間か  
くがせまいところは、かたむ  
きが急なところ  
です。

## 北海道のおもな川の長さと同面積



石狩川

### 平地と川

北海道には石狩平野や十勝平野などの広い平野や、盆地・台地があります。

石狩平野は日本で2番目に広い平野で、水にもめぐまれ水田が多いほか、らく農や野菜づくりがさかんです。また、ここには札幌市などの大きなまちが集まっています。

北海道には2,300あまりの川が流れています。その中

でも石狩川・天塩川・十勝川などは日本の中でも大きな川です。

北海道で1番大きな石狩川は、低い土地を曲がりくねって流れているので、昔からたびたびこう水をおこしてきました。そこで川をまっすぐにし、ていぼうなどをととのえ、こう水がおきないように努力が重ねられました。

### (3) 北海道の主な都市のようす

北海道には179の市町村があります。その中で札幌市の人口は約197万人（令和7年）と北海道の中でもっとも人口が多く、全国でも4番目の多さです。北海道庁などの役所のほか、多くの会社やお店があり、さっぽろ雪まつりなどの大きなイベントが開催される北海道の中心都市です。

上川盆地にある旭川市は、人口約31万人です。上川総合振興局があり、道北地方の中心都市です。道北地方でとれる木材を生かした家具づくりや製紙業（紙をつくる工業）がさかんです。最近では、市内にある旭山動物園が有名になり、観光客がふえています。

函館市は、人口約23万人で、渡島総合振興局がある道南地方の中心都市です。イカなどの新せんな海産物がならぶ朝市や、歴史的な建物が多いことで有名です。道外や海外からもたくさんの観光客がおとずれます。



札幌市（赤レンガ）



旭川市（買い物公園通り）



函館市（夜景）



釧路市（タンチョウ）

くしろ そうごうしんこうきょく のある くしろ 釧路総合振興局のある釧路市は、人口約15万人で道東地方の中心都市となっています。ぎょぎょう 漁業がさかんで、ここで水あげされるサンマやスケトウダラは、全国的にも有名です。タンチョウやくしろ しつげん 釧路湿原を生かした観光にも力を入れています。



## 北海道の人たちの暮らし

### (1) 農業のようす

北海道では、広い土地やきこう 気候のようすをうまく生かして、

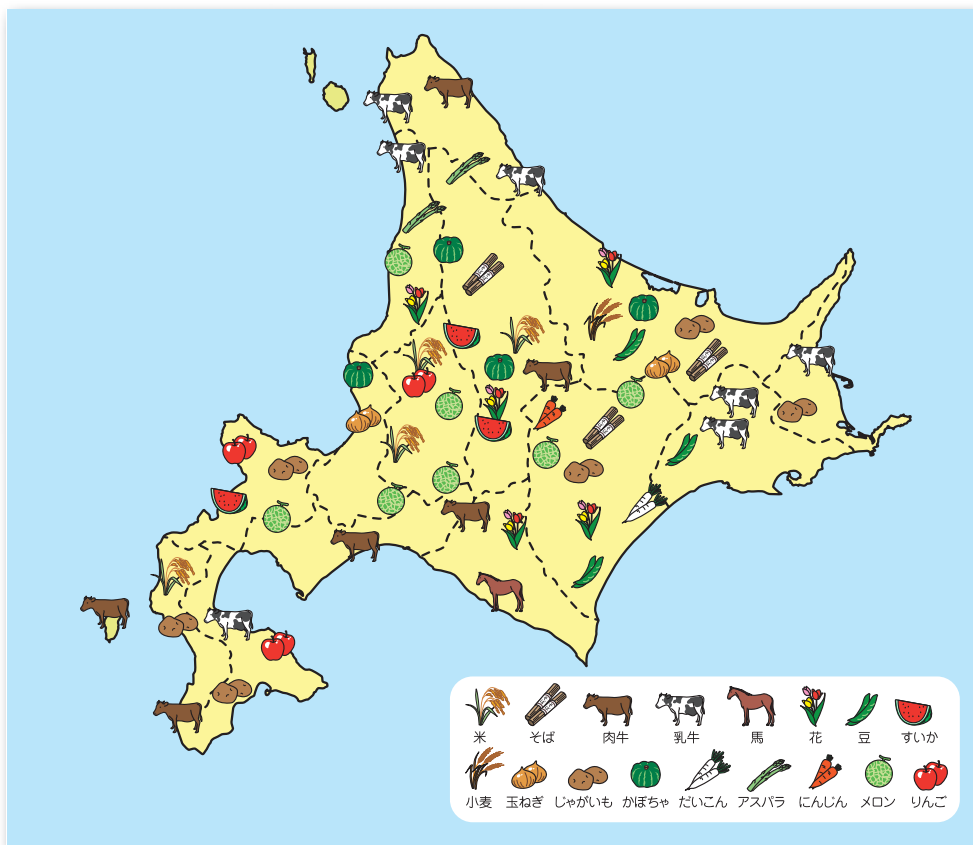
とくしょく  
特色ある農作物がつくられています。

夏の気温が高くなる石狩・空知・上川地方などでは水田が多く、米づくりがさかんです。米の生産量は、全国で1位、2位をあらそうほどです。

広い土地とすずしい気候を生かし、釧路や根室地方では牧草を育てて、乳牛をかっています。

と かつ あばしり  
十勝・網走地方では、豆るいやジャガイモ・ビートがさかんにつくられ、特に十勝地方は日本一の畑作地帯になっています。

他にも北海道では多くの野菜や、メロン、きり花などの生



北海道の農産物



(じゃがいも)



(ビート)

さんもされており、全国一の生産量をあげているものも少なくありません。

## (2) 水産業のようす

北海道は、日本海・太平洋・オホーツク海の3つの海にかこまれ、ゆたかな水産しげんにめぐまれています。漁かく量や金額は全国一位です。

北海道には240ほどの漁港があり、中でも釧路市・稚内市・羅臼町などが大きな漁港として知られています。

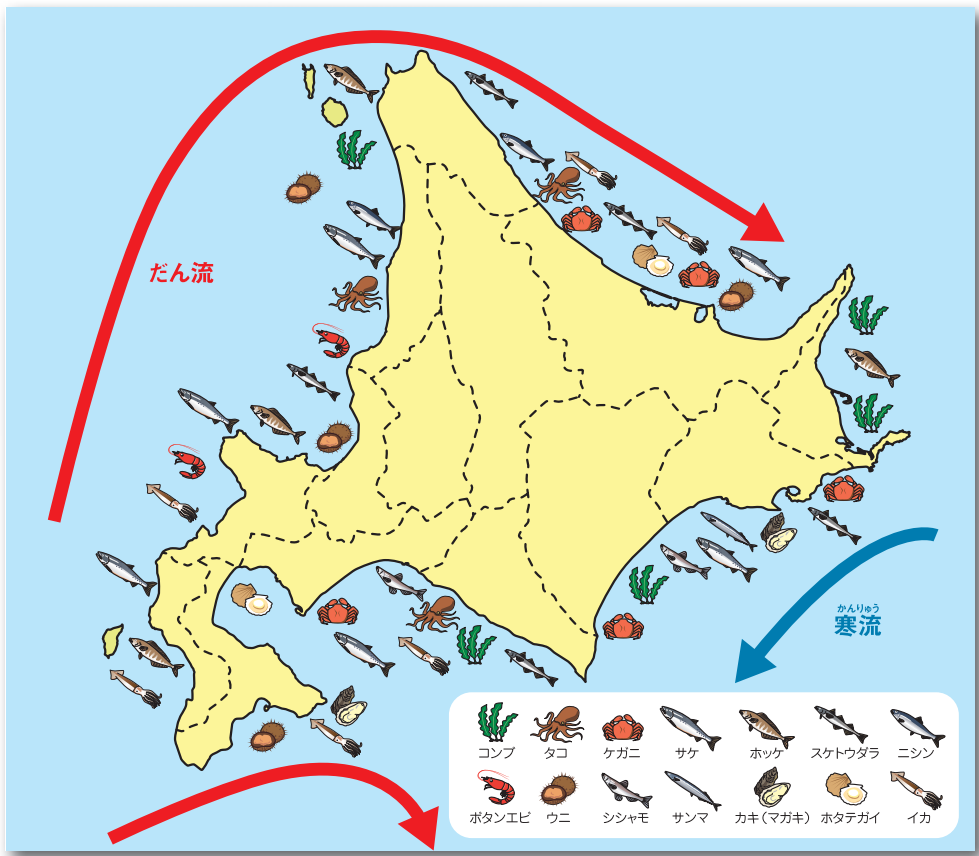
北海道では主にスケトウダラ・サケ・マス・ホッケなどの魚や、コンブ・ホタテなどの水産物がとれます。

しかし、さい近は漁かく量のげん少が大きな問題となっています。そこで、ただとるだけの漁業ではなく、「育てる漁

「<sup>ぎょう</sup>業」がふえています。サケやマスのおたまごをふ化させて放流したり、ホタテやウニ、コンブなどを<sup>よう</sup>養しよくしたりして、<sup>すいさん</sup>水産しげんを守るためにさまざまな<sup>どりよく</sup>努力が行われています。



(スケトウダラ)



北海道の水産物

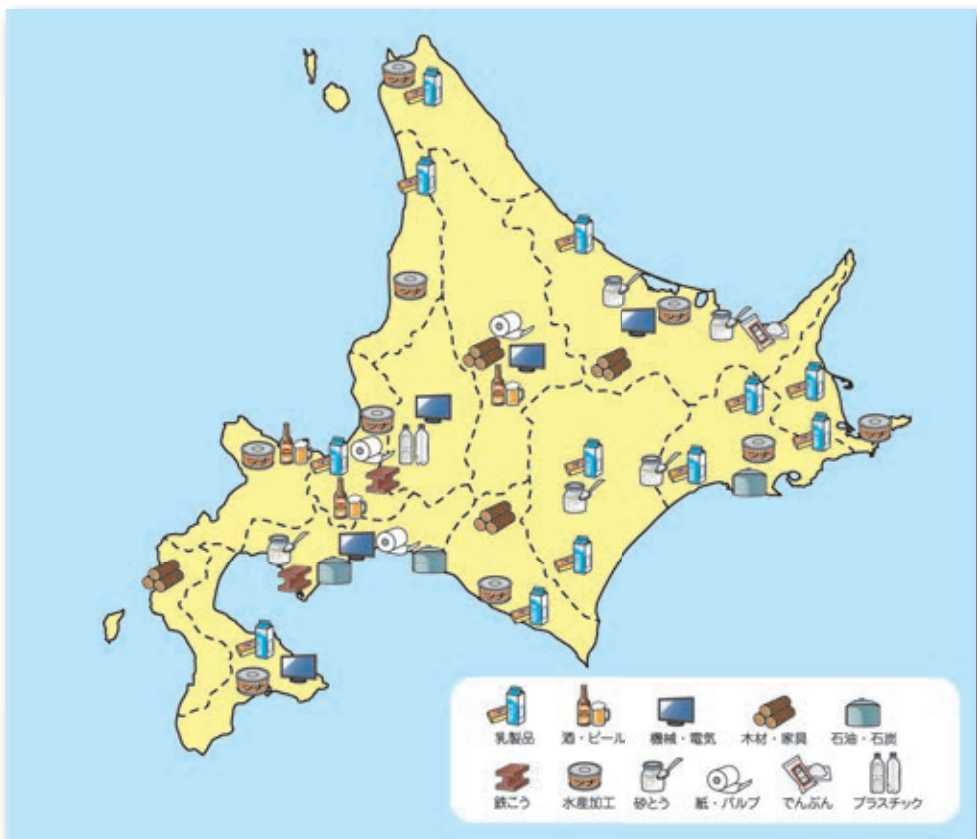
### (3) 工業のようす

北海道では、農産物や水産物、木材など、道内でとれたものを生かした工場がたくさんあります。

札幌市や帯広市には農産物を加工する工場があり、ビールやバター、チーズ、さとうなどをつくっています。

函館市や小樽市、釧路市には水産物を加工する工場があり、かまぼこやかんづめ、冷とう食品などをつくっています。

苫小牧市や旭川市にはゆたかな森林を利用して、紙やパルプをつくる大きな製紙工場があります。



北海道の主な工場の製品



カーフェリー



新幹線

その他にも<sup>むろらん</sup>室蘭市などには<sup>せいてつ</sup>製鉄（鉄をつくる）、<sup>くわちま</sup>苫小牧市などには<sup>せい</sup>石油<sup>せい</sup>製（原油から<sup>がそりん</sup>ガソリンや<sup>とう</sup>灯油をつくる）や<sup>きかいせいぞう</sup>機械製造（自動車の部品などをつくる）などの工場があり、そこでつくられたものは外国にもゆ出されています。

## (4) 交通のようす

北海道は鉄道や道路、高速道路があみの目のように広がっていて、道内の<sup>かく</sup>各地<sup>むす</sup>を結んでいます。また、<sup>せいかん</sup>青函トンネルによって、本州とも鉄道でつながっています。2016年3月26日に新青森駅・新函館北斗駅を結ぶ北海道新幹線が開業しました。2038年度末ごろ、札幌駅まで北海道新幹線が<sup>えんしん</sup>延伸になる予定です。

高速道路は、<sup>さっぽろ</sup>札幌を中心に道内<sup>かく</sup>各地に広がっています。今後ますますのびていくことになるでしょう。

大きな港は小樽<sup>おたる とまこまい</sup>や苫小牧<sup>とまこまい</sup>などにあります。フェリーや貨物<sup>かもつ</sup>船が多くの人や車、荷物などを運んでいます。

北海道には10以上の空港があり、たくさんの飛行機が道内や本州の空港を行き来しています。その中で1番大きな新千歳<sup>ちとせ</sup>空港は「空の玄関<sup>げんかん</sup>」とよばれ、たくさんの人が利用<sup>り</sup>しています。とくに新千歳<sup>ちとせ</sup>—羽田<sup>はねだ</sup>間の飛行機<sup>ひきり</sup>を利用する人は、1年間に約1,000万人に迫り、世界で1位、2位をあらそっています。また、月形でとれるメロンや切り花もここから本州に送られ、次の日には競<sup>せ</sup>りにかけられています。

## (5) 観<sup>かん</sup>光のようす

北海道には、平成17（2005）年に世界自然<sup>しぜん</sup>遺産<sup>さん</sup>に登録<sup>ろく</sup>された知床<sup>しれとこ</sup>国立公園をはじめ、大沼<sup>おおぬま</sup>国立公園や支笏洞爺<sup>しこつとうや</sup>国立公園など、他の地いきにはない、豊かな自然<sup>しぜん</sup>がたくさんあります。

特に温泉<sup>とく</sup>は日本で一番多く、宿はくすることができる温泉<sup>せん</sup>は、登別<sup>のぼりべつ</sup>や阿寒<sup>あかん</sup>をはじめ250か所以上もあります。

また、北海道の自然<sup>しぜん</sup>や気候<sup>きこう</sup>を生かした、さっぽろ雪まつりや層雲峡<sup>そううんきょう</sup>氷瀑<sup>ひょうばく</sup>まつり、オホーツク流氷<sup>りゅうひょう</sup>まつりなども開催<sup>かいさい</sup>され、たくさんの人が見<sup>み</sup>にきます。

テレビドラマやえい画のぶ台<sup>たい</sup>になった富良野<sup>ふらの</sup>市や夕張<sup>ゆうばり</sup>市、歴史的な町なみの残<sup>のこ</sup>る函館<sup>はこだて</sup>市や小樽<sup>おたる</sup>市、旭山<sup>あさひやま</sup>動物園がある旭<sup>あさひ</sup>



知床



さっぽろ雪まつり

かわ  
川市などにも多くの人がおとずれています。

北海道には、日本全国はもちろん、外国からもたくさんの人がやってきて、<sup>かん</sup>観光を楽しんでいます。

## (6) 北海道とつながる国や地いき

北海道をおとずれる人の多くは、<sup>ひ</sup><sup>き</sup><sup>り</sup>飛行機を利用しています。北海道の「<sup>げんかん</sup>空の玄関」とよばれる<sup>ちとせ</sup>新千歳空港は、外国の空港とも行き来があります。ここ数年、<sup>ちとせ</sup>新千歳空港から入国する人の数がふえています。

また、月形で生産されるメロンをはじめ、北海道の<sup>さい</sup>野菜や<sup>さん</sup>水産物など、新せんな食品も<sup>ちとせ</sup>新千歳空港を通じて道外に運ばれています。

その他の多くの<sup>しなもの</sup>品物は<sup>り</sup>船を利用して運ばれています。中で

も<sup>とまこまい</sup>苦小牧港は、北海道の「海<sup>げんかん</sup>の玄関」とよばれ、たくさんの品物が運ばれています。

苦小牧港<sup>とまこまい</sup>に送られてくるものを調べると、石油や木材<sup>ざい</sup>、石炭などの工業の原料になるものが多く運ばれていることがわかります。その他にも、牛が食べる飼料<sup>しりょう</sup>（トウモロコシ）や私たちが食べるバナナなどの食品が多く運ばれてきます。

また、北海道でつくられた自動車の部品などはこの<sup>とまこまい</sup>苦小牧港を通じて道外や海外へと運ばれていきます。

私たちの月形町は、新千歳<sup>ちとせ</sup>空港や<sup>とまこまい</sup>苦小牧港を通じて、日本<sup>かく</sup>各地だけでなく、外国<sup>むす</sup>とも結びついています。



新千歳空港の様子